

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	長寿を謳歌！健康づくりプロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の1人世帯が増加している。 ・検（健）診の受診率が伸び悩んでいる。 ・急激な高齢化による介護及び後期高齢者関連経費が増加傾向にある。 ・社会環境やライフスタイルの変化による生活習慣病や高齢化に伴い、市民の健康に対する関心が高まっている。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスタや健康マイレージ事業により、市民と協働しながら、高齢者等が元気に暮らせるまちづくりに寄与する。 ・検（健）診の受診率の向上を図り、市民の健康づくりに寄与する。 ・高齢者が主体となって健康づくりに励み、長寿を謳歌できるまちづくりを目指す。 							
	総事業費（千円）	16,605	本年度事業費（千円）	16,605	交付金額（千円）	2,776		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	検（健）診一括申込導入事業	交付対象事業	検診等受診率を上げるため、検（健）診者の負担を減らすため、申込はがきで一括して申込可能にする。折込はがきで受診希望に印を入れ返送。	健（検）診 利用者数 11,323人				
	母子健康センター耐震診断事業	交付対象事業	母子健康センターの耐震診断	耐震診断				
	スポーツ公園・都市公園等ベンチリニューアル事業	交付対象事業	健康的生活を支え、公園利用を促進するため老朽化したベンチの更新を実施。	公園等ベンチ更新 75基				
住民 協働 事業	健康フェスタ開催事業	交付対象事業	市長とふれあいウォーキング、親子運動教室、京都ギネス（玉入れ）に挑戦等	健康フェスタ開催 平成26年10月 参加者 2,500人				
	健康マイレージ事業	交付対象事業	対象目標の達成者に健康マイレージポイントを付与し、健康づくりの動機付け及び運動習慣の定着を図る。	応募者 217人				
	気付きから始めよう（健康な身体を築くために）事業	交付対象事業	①植田元監督（バレー）講演②ノルディックウォーキングで健康に③親子でニュースポーツ	講演「あきらめたら終わりだ、あきらめなければ終わらない」 ノルディックウォーキング 参加者 26人 親子でニュースポーツ 参加者 55人				
	シニアわいわい元気教室・延ばそう健康寿命事業	交付対象事業	認知予防教室、延ばそう健康寿命（体操・舞踊）	認知症予防教室の開催				
	八幡老人クラブ50周年記念開催事業	交付対象事業	50周年記念事業（講演会等）	八幡老人クラブ50周年記念開催				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：八幡市

住民が取り組む事業					
成果指標 ①	成果指標の目標数値	健（検）診 利用者数 7,302人（25年度実績） → 13,100人（26年度）		成果指標の実績値 （27年4月1日時点）	7,302人（25年度実績） → 11,323人（26年度）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値には達しなかったが、25年度実績を上回ることはでき、市民の健康づくりに寄与できた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標 ②	成果指標の目標数値	健康フェスタ開催 平成26年10月予定 参加者 1,000人		成果指標の実績値 （27年4月1日時点）	平成26年10月開催 参加者 2,500人
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	健康フェスタを開催することができ、参加者が目標数値を大幅に上回った。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標 ③	成果指標の目標数値	公園ベンチ更新 50基		成果指標の実績値 （27年4月1日時点）	75基
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標数値を上回って公園ベンチを更新することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	健康フェスタや健康マイレージ事業により、市民と協働しながら、高齢者等が元気に暮らせるまちづくりに寄与する。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果				
	府と市町村等との連携に資する成果		だれもが明るく元気に暮らし、社会的に孤立することなく、住み慣れた地域で安心して生活が実現できるために、健康づくり推進事業を府市協調して今後も進めていく。		
	住民の自治意識を高める成果		高齢者が自ら参加し、市民と交流しながら健康増進を図り、高齢者が元気に暮らせるまちづくりに寄与する。		
	リーディング・モデル成果		健康フェスタや健康マイレージ事業は、高齢者をはじめとする市民参加型の健康づくり事業としてモデルとなる。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：八幡市

	広域的波及成果	健康マイレージ事業は、健康づくりの動機付け及び運動習慣の定着につながる。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。